

お知らせ

贈与と税金

財産をもらったら

個人から財産をもらったときには、もらった方に贈与税がかかります。ただし、個人からもらった財産が、年間六〇万円以下るとき

は、贈与税はかかりません。なお、会社など法人から財産をもらったときには、贈与税はかかりませんが、一時所得として所得税がかかることになっています。贈与税が課税される財産は、個人からもらった現金、預貯金、有価証券、土地、家屋、貴金属、宝石、書画骨とうなどです。

健康相談日程

期日	場所	時間
9月16日(火)	虫亀集落センター	10:00~11:30
	木籠集落センター	1:30~3:00
9月17日(水)	上村集会所	10:00~11:30
	中野集会所	1:30~3:00

9月の納税・保険料  
★保育料(9月分)



贈与税の計算については、その年の一月一日から十二月三十一日までの一年間に、個人から贈与を受けた財産の価額を合計し、基礎控除額の六〇万円を差し引いた残額に税率を掛けた額が贈与税額となります。贈与税の税率は、一〇パーセントから七五パーセントまで、課税価額に応じて高くなる超過累進税率となっています。詳しくは長岡税務署・税務相談室または税務課にお尋ねください。

県立高等職業訓練校

62年度生徒募集

県内に六校ある、県立高等職業訓練校が、生徒を募集しています。各種技能を取得されたい人は、左記により受験をお申し込みください。

二、応募手続  
・過年度卒業生  
入校願書、最終学校成績証明書、医師の身体検査書を職業安定所を経由して、応募する訓練校に提出する。  
・高校卒業予定者  
在籍する学校へ相談ください。

一、応募資格  
義務教育を終了した人(昭和六十二年三月中学校卒業予定者を含む)

三、受付期間  
昭和六十一年九月一日(月)から九月十三日(火)

二、応募手続  
・過年度卒業生  
入校願書、最終学校成績証明書、医師の身体検査書を職業安定所を経由して、応募する訓練校に提出する。  
・中学・高校卒業予定者  
在籍する学校へご相談ください。

◆学校名  
県立新潟高等職業訓練校  
県立三条高等職業訓練校  
県立魚沼高等職業訓練校  
県立上越高等職業訓練校  
県立柏崎高等職業訓練校  
県立十日町高等職業訓練校

◆普通課程  
(高卒対象)  
一、応募資格  
高等学校卒業生、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる人(昭和六十二年三月卒業予定者を含む)

◆科名  
機械技術科 精密機械科  
金型技術科 電子機器科  
電気施設科 自動車整備科  
建築科 工芸織物科  
染色工芸科 デザイン科  
測量科 経理事務科  
機械科 左官科  
機械鍛造科 金属プレス科  
溶接科 板金科  
配管設備科

八月十四日、種子原で

ひざくまんべん

子どもたちも

なんまいだー なんまいだー

お盆の八月十四日(木)午後、種芋原地区内の中野で、恒例の「百万遍」が行われました。いつから続いているのか、はっきりはわかりませんが、残っている書物には天保二年という文字が読まれるという事です。言い伝えによると、悪い病気が大流行したとき、医療など無く祈るしか方法の無い時代だったため、お祈りしたのが「百万遍」の始まりだといわれています。

今年、子どもたちも大勢参加し、一時間余の間「なんまいだー」と大人たちに負けずにお祈りしました。お盆帰りの人たちが道から加わったりして、道行くにいたが人数がだんだん多くなつて行きます。何人かが一升びんを下げ、酒を振舞いながら歩くため、だんだんお祈りの声も大きくなつてきます。

桐でできた珠をつないだ大きな長い数珠に、大勢の人がつかまり「なんまいだー、なんまいだー」と大きな声で祈りながら、地区内を回ります。沿道でお祈りしている人たちは、数珠の先についている房の下に頭を下げ、次々に「おほらい」をしてもらい、無病息災を祈ります。

こうして、村指定文化財の「中野愛宕庵」を脱線後出発した「百万遍」は、一時間余かけ地区の人たちの病気を「ほらい」再び帰ってきます。お祈りの言葉は、「なんまいだー」これだけをいつまでもくり返すため「百万遍」といわれるのです。  
来年からは、種芋原地区全域を回る計画もあるそうです。



# 祝 成 人



今年の村の成人式が、八月十四日に村民会館で行われました。

九時三十分から、君が代斉唱で始まり、村長の式辞、村議会議長・教育委員長・選挙管理委員長の祝辞と続き、終りに新成人誓いの言葉を、出席者を代表して、大久保の川上智子さんが述べ、万歳三唱で閉会しました。

そのあと村民会館前で、記念写真を撮影し、バスで長岡の蒼柴神社参拝へと向かいました。そして、再び村民会館に戻り、祝宴の後解散しました。新成人の人たちに、感想と抱負を聞きましたので紹介します。

地元の成人式は、どこか親しみがあって、温かさを感じました。こういうお祝いは、何回やってもらっても嬉しいものだなと思えます。どうもありがとうございます。

小川厚子 (種芋原) 東京に就職して、二年ぶりにこの種芋原に帰って来ました。もう両親も家を引きはらい、二度と帰って来ることはないと思っていた私に、一通の成人式の案内状は、本当に嬉しかったです。まさかこの土地で、同級生といっしょにお祝いをしてもらえるとは思っていませんでした。本当にどうもありがとうございます。

長谷川真澄 (種芋原)

豊かな自然とあたたかい人々の中で育ち、そしてまたこの土地で成人式を迎えられることに、思いつき感謝します。成人したといっても、中身がおぼつかず歳だけが浮いている気もしますが、これを機会にもう少しいろんなことに頑張りたいと思います。

樺沢まり子 (種芋原) 成人したことを大変嬉しく思います。これからは成人として、遠く離れていても頑張りたい。樺沢明男 (種芋原) 今日から大人の仲間入りをしたので、自分の行動に責任を持ちたいと思います。

小川幸治 (種芋原) 久しぶりに同級生と会うことができ、大変嬉しい。成人になったからには、自分の行動・発言に責任を持ちたいと思います。小川政志 (種芋原) 帰って来る度に、少しずつ変わっている村の姿を目にすると、時の流れをしみじみと感じます。

山内勝枝 (間内平) 記念すべき成人式を、故郷で迎えることができ、とても嬉しいです。久しぶりにみんなの顔を見ることができたし、とても良い一日です。

関久美子 (油夫)

五年ぶりにみんなに会ったんだけど、みんな変わってないみたいで安心した。成人したという実感はないけど、これからは責任をもって行動しなければならぬと思う。

高野浩美 (小松倉) 成人なんて、子供の頃はすぐく先のことだと思っていたのに、もう自分達が成人。信じられないけど、自覚をもって行動したい。長島豊子 (虫亀) 久しぶりにみんなに会えて、すごく嬉しい。実感はないけど、成人したという自覚をもっていきたくて生きてゆきます。

金子奈保美 (虫亀) 早いもので、もう私達も成人。何か信じられない。あまり実感はないが、今後は自分に責任をもって生きてゆきます。峰村房枝 (虫亀) 成人という言葉の意味を、今初めて知ったような気がします。今日から新たな気持ちで、生きてゆきます。

佐藤由美子 (虫亀) よくわかんないけど、やっとおとなだね! 松田淳子 (虫亀) 成人バンザイ!とゆうより、こんどは自分で責任をもって行動しなくてはいいけません。頑張ります。

関順子 (梶金)

二十一歳になって、やっと成人式を迎えました。早く嫁さんがもらえるように、頑張りたいと思います。

星野和重 (山中) 本日は、誠にありがとうございます。なつかしい友人達に会えるこの日を、楽しみにしておりました。山古志に育ったことを誇りに思い、これからも努力して行きたいと思えます。

小川雅子 (種芋原) やつと成人したという感覚です。何よりも久しぶりに同級生と会えたのが、なつかしかったです。佐藤卓也 (下村) もうすぐ結婚します。なんとか幸せにしてやりたいと思っっています。

星野伸仁 (二丁野) もう成人になったので、早く嫁さんを見つけて、山古志村につれて来、子供をつくりたい。誰か来てください。星野和弘 (二丁野) もう成人だつてさ、良くわかんない。五十嵐孝芳 (虫亀) 自分がもう成人だなんて信じられないようですが、これからは自覚を持たなければと思います。

小池宏美 (桂谷)

いつの間にか成人式で、早いなというのが実感です。これからは一人社会人として頑張りたいと思います。

五十嵐豊 (梶金) みんなに会えて、ううううれしい。星野智子 (池谷) もう成人式なんて、早いなー! みんなに会えて嬉しかった。最後に「もっと太りたいヨー!」 関美佳 (梶金) ー!、また一年とつた。んー、また一人ふえた。

五十嵐敏勝 (虫亀) 早く結婚したい! それには、やせるよう頑張ります。川上智子 (大久保) 今まで育ててもらった両親に、感謝します。これからは切り開いて、頑張ってください。

酒井寛子 (虫亀) 今年は、対象者六十一人。このうち三十八人が出席されました。(敬称略)



月見草



# 9月15日は敬老の日

九月十五日は、敬老の日。この日は虫亀小学校に、村内全地区のお年寄りの人たちから集まっていた。ただ、敬老会が行われます。物質文明、飽食の時代、使い捨て時代などと言われる現代。人の心の豊かさが忘れられ、物質だけが豊富に回り、コンピュータ等人間の頭脳の代用品の進歩は、めざましいものがあります。人々は、豊富な物に惑わされ、自分の欲しい物(必要な物とは違う)を手に入れるため、動き回りそして走り回り、心のゆとり・豊かさなどとは、古い昔に忘れ去ったのではないのでしょうか。

明治・大正の時代に生まれ、生きてこられたお年寄りの人たち。聞いた話で想像するしかありませんが、物は無く、食べ物も不足している時代に、労働に明け暮れながら子供たちをりっぱに育て上げられたお年寄りの人たち。それこそ、豊かだったのは愛情と心だけだったのではないのでしょうか。

敬老の日をよい機会に、お年寄りの人たちから「豊かな心」を聞き、あらためて感謝を申し上げます。

## 益々

## お元気で

●今年度米寿(八十八歳)を迎えられる方  
 ・坂牧タノ (種芋原三方)  
 ・坂牧源太郎 (種芋原正憲方)  
 ・五十嵐イノ (虫亀俊一方)  
 ●金婚式(結婚後五十年)を迎えられる方  
 ・川上政一・ミサ (天久保)  
 ・増田善太郎・ミヤ (小松倉)  
 ・坂牧銀一郎・マサ (種芋原)  
 ・坂牧永吉・セン (種芋原)

●今年度喜寿(七十七歳)を迎えられる方  
 ・種芋原 樺沢タカ、樺沢忠作  
 ・小川長吉、小川伊吉  
 ・長谷川久雄、川上シズ

お年寄りに、あらためて感謝を


氏名	生年月日(年齢)	集落	世帯主
藤井カツ	明22・4・27(97)	檜木	勲
西原ツノ	24・7・26(95)	虫亀	熊太郎
佐藤シカ	26・5・5(93)	虫亀	夕ヶ
浅染ムメ	26・9・26(92)	木籠	伊吉
五十嵐イシ	27・3・14(92)	池谷	利雄
川上シゲ	28・3・8(91)	種芋	原右工門
長島多郎吉	28・8・22(91)	虫亀	辰太郎
長島ムツ	28・10・18(90)	虫亀	健治
坂上トメ	28・12・21(90)	種芋	原亨
川上キシ	29・2・22(90)	向田	孫治郎
星野キヨ	29・11・11(89)	間内	平栄一
小幡タキ	30・1・17(89)	種芋	原福松
金内ツセ	30・9・13(88)	種芋	原伝太郎
斎藤伍郎作	30・11・25(88)	池谷	倉吉四郎
酒井ヒロ	31・1・7(88)	虫亀	夫利
八久保イマ	31・1・10(88)	油	原駒夫
坂牧ソノ	31・3・15(88)	種芋	原貞三
坂牧タノ	31・7・5(88)	種芋	原俊一
五十嵐イノ	31・7・12(88)	虫亀	原正憲
坂牧源太郎	31・12・10(87)	種芋	原誠一
斎藤イツ	32・7・1(87)	虫亀	原斎
青木キヌ	32・9・15(86)	池谷	辰太郎
長島ヨト	32・9・20(86)	虫亀	原勇雄
坂牧ヨキン	32・11・16(86)	種芋	原政晟
長島マツ	32・11・22(86)	虫亀	原健一
坂牧ヨト	32・12・31(86)	種芋	原下村
青木テル	33・1・5(86)	下	村健本
五十嵐ヨセ	33・2・18(86)	虫亀	原弘
五十嵐梅	33・3・10(86)	虫亀	原善
金内ス	33・3・20(86)	種芋	原善

(昭和61年9月1日現在)




(敬称略)


- 草間ハナ、佐藤フノ
- 坂牧七之助、樺沢富吉
- 小川テツ、小川秀松
- 虫亀
- 五十嵐キク、酒井作治
- 長島ツノ、五十嵐ハナ(進)
- 峰村源七、五十嵐ハナ(益幸)
- 竹沢
- 星野達雄、小川ヨシ
- 高野セツ、岡田スギ
- 青木さわ、星野藤次郎
- 星野キヨ、星野義盛
- 高野マキ、関金太郎
- 高橋藤蔵、高野富三郎
- 東竹沢
- 五十嵐ツノ、関信一
- 川上イト、小川セン
- 小川ツノ、松崎彦一
- 五十嵐ツル
- 南
- 青木トセ、長島マツ
- 斉藤竜太郎、星野林太
- 小池関之重



五十嵐イノさん



坂牧源太郎さん



坂牧タノさん

写真を撮りに伺い、最初お目にかかったとき、あまりお若そうでは驚きました。とても米寿を迎えられる方とは思われませんでした。

昔から、病気で医者にかかったことはないそうです。医者にかかったといえ、若い時木から落ち骨折したときくらい。骨折は病気がないですからね。

家の囲りは、草一本なくピカピカ。「山に行ってもよいが、家族が心配するから」と坂牧さん。

身体も目も耳も、悪いところは全々ないそうです。小さいひ孫さんのお守りをしておられました。若いおばあちゃんが、畑仕事ができるように。

## スポーツ広場に 照明施設完成 テニスコートも改良



八月に種芋原のスポーツ広場(野球場一面・テニスコート二面)の照明施設が完成しました。

村内の野球愛好者は、学生以外全て仕事を持っており、野球をやる時間はどうしても早朝か夜間に限られるため、この照明施設の完成が待たれていたものです。

これまでも、山古志中学校グラウンドには照明施設がありましたが、野球をするにはグラウンドの形が変形であったり、村内では一カ所のため、野球愛好者は不便を感じていました。

この完成により、村内の野球熱がいっそう強くなると思われれます。

また、テニスコートも照明施設の完成と同時に、雨天でもできるように改良されました。

## 62年用家計簿

昭和六十二年用(明るい生活の家計簿)の申し込みを受け付けます。生活改善グループなどで使用し、好評を得ているものです。

▽申込期限 九月末日

▽申込先 役場総務課(電話可)

▽価格 一冊二百六十円(申込数により変わる場合があります)





# 消防大会へ 第一分団 出場

八月十日（日）に「第三十七回 新潟県消防大会・ポンプ操法競技会」が、長岡工業高校グラウンドで行われました。

この大会に、山古志村の第一分団（種芋原）が、三島・古志郡の代表として出場しました。六月十五日に山古志中学校グラウンドで行われた県大会出場チーム選定大会の結果、第一分団が選ばれたものです。



員が、山古志村消防団として、この大会の小型ポンプ操法の部（出場十八消防団）に出場。炎天下の十一時五十分競技開始。家族や応援団の熱心な声援の中、ポンプ操作の確実さ・す早さを競いました。健闘の結果、おしくも入賞は逸したものの、三島・古志郡代表としての重責は、充分果たしていただきました。ごろうさままでした。

## 錦鯉 今年のデキは

遅い春に長い低温の梅雨。今年の春から夏にかけての天候は、作物や錦鯉にはあまり快適でなかったようです。稲は、「昨年比に比べ、十日以上遅れた」という声が多いようです。錦鯉の成長・仕上りの状態はいかがでしょう。

八月十三日、虫亀の田中重吉さん宅では、家族全員で錦鯉の選別をしておられました。今年はどういうわけか、アオミドロが多くて困るそうです。選別をするときは、地曳き網で鯉を一網打尽にとりあげます。このとき、アオミドロに鯉がひっかかってしまうのです。このためにまず、アオミドロを池からすくい出してしまわなければなりません。



この日選別した鯉は、ドイツ三色。七アル程度の池から約十尾。大きさは三〜五センチ。六月の末にふ化した鯉です。この十万尾というのには、一腹の半分だぞうです。「お盆までに一回選別を終えたかったんだが」と田中さん。毎日選別しているのに、まだ五枚ほど選別しない池が残っています。大きなたらいをテントの真中に置き、その中に囲りから選別した鯉をピンピンと投げ入れます。小

## 稲・種子更新 稲・種子更新 （よいいね）牛（よいうし）活善（よいせいかつ） 生改（よいせいかつ）

種子更新は、なぜ大事なのでしょう。それは、「品種特性の退化を防ぎ、多くの収量を得るためです」自分の家で採った「種子」を毎年使っていると、「収量」は次第に少なくなり、米の品質も悪くなる

比率	玄米量 <sup>kg</sup>	供試種子
一〇〇%	五三〇	採種ほ産種子
九八	五一九	二年連続自家採種
九五	五〇三	三年連続自家採種
九〇	四七七	五年連続自家採種
八四	四四四	九年連続自家採種

## 秋野菜の栽培管理

暑い夏も終わり、過ごしやすくなる九月は、秋野菜にとって一番生育が盛んになる時期です。野菜が順調に育つ環境作りが、この時期のポイントになります。間引きの時期・追肥の適期等を、誤らないようにしましょう。

たは株間十〜十二センチメートルに一本の割合で残す。間引く苗は、葉が地面にはついている苗・葉数が極端に多い苗・首が極端に太い苗とする。

・大根  
は種後三十日を目安に、生育を見ながら行う。  
・白菜  
は種後四十日前後の、結球開始以前に行う。施肥量は、化成肥料で平方メートル当り三十グラム程度とする。

議会在「たくましい山古志の子どもを育てるために、いまPTAは何をすべきか」という研究主題のもとに開いたものです。当日は、残暑の大変厳しい日でしたが、午後一時の開会式には、先生と子供たちの父母が百人以上集まりました。

## 白髯社 子どもみこし



村内唯一のみこし。「白髯社・子どもみこし」が、八月十六日に行われました。これは、竹沢地区（下村・二丁野）の青年団が、八年前から始めたものです。みこしは、子どもたちの小さな樽みこしが二基。

出発です。「ワッショイ」「ワッショイ」と元気なかけ声で、竹沢小学校まで行き、そして白髯社に帰るまで約二時間半の長道中。子どもたちも頑張りましたが、青年（親）たちも負けずに楽しんでいました。暑い、暑いと言いつつ、やはり夏。子どもも大人も開放的な気分は同じ。

追肥は、基本的には間引き直後に、土寄せを兼ねて行うようにするが、随時野菜の様子をうかがいながら少量ずつ施肥することが、最も重要です。一般的な追肥の時期は、次のとおりです。

・にんじん  
は種後六十日頃（本葉五〜七枚）施肥量は、化成肥料で平方メートル当り二十グラム程度。

開会式の後、六つの分科会に分かれ「家庭における望ましい父親像」・「地域のPTA活動に、どう取り組んだらよいか」・「学校と家庭の連携は、これでよいか」この三つのテーマで討論を進めました。一時間半程度では、討論しつくせないほど話が広がり、大半の分科会では時間いっぱいまで討論が続いていたようでした。

「白髯社・子どもみこし」が、八月十六日に行われました。これは、竹沢地区（下村・二丁野）の青年団が、八年前から始めたものです。みこしは、子どもたちの小さな樽みこしが二基。

出発です。「ワッショイ」「ワッショイ」と元気なかけ声で、竹沢小学校まで行き、そして白髯社に帰るまで約二時間半の長道中。子どもたちも頑張りましたが、青年（親）たちも負けずに楽しんでいました。暑い、暑いと言いつつ、やはり夏。子どもも大人も開放的な気分は同じ。



## P.T.A 研究集会終る お父さんは 何点

十六回目の「山古志村PTA研究集会」が、八月二十一日（木）に山古志中学校で行われました。これは、山古志村PTA連絡協





種芋原の百万遍(表紙のつづき)



# 真夏の夜の夢

## ひとときの賑い

長い梅雨が明け、その分だけ短い夏の始まり。八月に入るとあっという間に日が過ぎ、またたく間にお盆。

どこの家でも、帰省客で大賑い。道端・庭先には、たくさんの人々が行き交い、山古志村一人口大幅増加。これが山古志村かと思紛うほど。

老若男女の群れで賑やかな山古志村の真夏の夜の夢「盆踊り」。青年の威勢の良いタイコのリズム。年輩のオヤジさんも「負けてなるものか、昔とった杵づか」と流れるようなタイコで競演。

はちまきしめて、茶ワン酒をあり、声も枯れよ、と音頭とり。昔の娘さん方の、踊る手つき、姿のしなやかさ。

今の娘さんの、恥ずかしげに踊る姿の初々しさ。見よう見まねで踊る子供たちのかわいらしさ。

酒酔いの踊りの、おもしろさ。大勢の人が集まるということ、何よりも楽しいことです。

「ヨウ、ヨウ」、「オッ、いつ来たの、久しぶりだね。帰りに寄ってけよ」数年ぶりに見る顔のなつかしさ。何年ぶりという同級会もあちこちで開かれます。

お盆のうちには、テールも大変です。朝定時の一番膳のあとに、寝すぎた客の二番膳。その前後に

来客があり、休む間もなく昼食。昼食のビールが延々と続き、「ビールがなくなつた、酒屋さん冷えたビール持ってきて」そうこうするうちに夕食の時間。夕食からは夜ふけまでテーブルの上はビールが占拠。お盆には、テーブルに長時間残業手当を与え、足に湿布薬を貼ってあげてください。

こうして、わけのわからぬうちに、お盆が過ぎて行きます。そしてお盆が終り、帰省客が東京・埼玉・神奈川へと水を引くように帰って行き、また静かになると、これが山古志村だったんだと人の少ないわびしさをかみしめなくてはなりません。

来年から、お盆の十五日後は、山古志村から村外へ通じる道路は全て封鎖するようにしたらいいかかでしょうか。



職員一人、看護婦・准看護婦三人、栄養士(女子)一人、寮母・寮父二十二名、介助員(男子)一人、調理員四人

受験資格  
通勤可能者に限る  
受験職種は一職種に限る

所在地  
長岡市加津保町  
◎受験申込方法等、詳しいことは住民課にご照会ください。



### 昭和六十二年

#### 村単は場整備・農道舗装

##### 申し込みは

##### 九月末日までに

五十五年度より実施されている、村単補助事業のほ場整備(田の切り直し)・農道舗装。六十二年度も前年どおりに、申し込みを受け付けます。希望者は九月三十日までに、建設課へお申し込みください。

この補助事業は、村の立地条件に合わせ、小規模なほ場整備、勾配の急な農道を舗装することにより、農業経営の近代化を進めていただくというものです。

補助率は、二〇%ですが、事業は次の基準に合わなければなりません。

- ▼ほ場整備(田の切り直し)
  - (一) 事業は個人または共同で、一団地二〇アール以上(面積は、水張り面積とする)
  - (二) 畦畔の土羽の勾配は一分、築立の内法は八分、外法は一分以上、天端幅は一・〇m以上。
  - (三) ほ場整備に付帯して農道を作る場合、起点は国、県、農

林道とし、延長一〇〇m以内で車両通行可能なもの。

(四) 水源(井戸、ため池等)は補助対象外とする。

▼農道舗装
 (一) 勾配が三―一七%で、工事延長が二〇―一五〇mのもの。

(二) 舗装はコンクリート舗装で、舗装厚は一〇cm。

(三) 側溝(U字溝)を敷設すること。(新設の場合は補助対象)と。

▼申し込み
 申込用紙は、役場建設課に用意してあります。詳しいことは、建設課にお問い合わせください。

※なお、六十三年度以降、村単ほ場整備は新たに見直し、農道舗装の方を重点的に進める予定です。

